

入選 茨城県 加倉井 紀子 様 (40代 女性)

母が、脳梗塞で寝たきりになってもう2年が経ちます。自宅での生活は難しく、施設や病院を行ったり来たりの日々です。

2年前、母は認知症を患ってグループホームにお世話になっていました。

ある暑い夏の日、一本の電話が鳴りました。母が倒れたと。救急車で運ばれたので病院に来てくれと。慌てて病院に向かうと、救急で診察された母は一言も言葉を発することなく、目も合わない状態。どうなっているのか全く分からないまま、待合室で待つこと2時間。結果はもともと悪かった心臓で血栓ができ、脳梗塞を引き起こしたと。すぐに治療が始まり、治療が進むと母の右半身が麻痺して動かないことが判明。それでも、一進一退しながら元気になっていき、母から笑顔がみられるようになりました。これで一安心だと家族みんなで喜んでいたら、二度目の脳梗塞を起こしました。今度の脳梗塞は深刻で、命を掌る脳幹という場所で起きていました。体を動かすこと、食事をする、言葉を発することなど、意思の疎通が難しくなっていました。それでも、治療の甲斐あって面会に行けば笑顔がみられるまで回復しました。しかし、その後入院が長引いたことで認知症の症状が進んでしまい、今では家族のこともわからなくなり、笑顔を見ることもなくなりました。ですが、娘としてできることをやろうと決め、毎日仕事の合間に母の面会に行き、体を摩り声を掛ける。こんなことぐらいしか出来ないですが、私に出来ることは何かを探しながら、母に会いに行っています。

そんな毎日を過ごしていて、ふと思ったことがあります。母のお世話をさせていただいている施設や病院の費用のことです。この費用は、17年前に他界した父の遺族年金で賄っています。ですが、この年金がなかったら母はどうなっていたらろうか。私たち家族はどうなっていたらろうかと。

私には、3人の子供がいます。大学生と高校生の息子に中学生の娘。大学生の息子は、家を出ており学費や生活費を毎月仕送りしています。高校生の息子も来年には大学生となり、家を出る予定です。毎月我が家は、家計が火の車です。

また、私には兄がいますが兄のところも高校生の息子と中学生の娘がいます。会えば、

互いの家計状況の厳しさを話しています。

今、母が安心して生活していただけるのも、私たち兄弟が母の生活費を負担しなくて済んでいるのも、すべて年金のおかげだと思います。

私は、母のおかげで年金がとても大切なものだ実感しました。最近では、年金を払わないという人が増えていると報道されていますが、何十年後の自分や家族の為に、年金を支払うことが大切だということを知ってほしいです。

私も、近い将来母のようになるかもしれません。もし、そうなった時に子供たちの負担にならない為に、きちんと年金を払っていきたいと思います。

人生は、何が起こるかわかりません。なので、皆さんにもう一度年金について考えていただきたいと思います。